

☆授業づくり☆人とのつながりを大切に 小学校編（豊中市教育センター）

能勢町教育委員会の塩出主幹を講師に、たくさんの“つながる”ワークを体験しました。子どもたち同士や教師と子どもをつなぐしかけがたくさん詰まっていた、心が穏やかになる時間を過ごせました。このワークを持ち帰っていただき、それぞれの学校、学級に応じた形に変化させ、是非子どもたちと学習しながら楽しんでください。

クラスの中にはすぐに人をからかってしまう子どもや、本当はとても優しい心を持っているのに、友達が嫌がることをしてしまっている子がいる。今日実践したワークのような活動を通して、その子自身にも周囲にもそれぞれの良さを見つけてほしい。

『嫌だ！にくい！嫌い！というのも自分の気持ち。持っていていいんだよと伝えたい』という言葉が本当に印象的でした。私のクラスには自分の気持ちをうまく出せない、出たくないという子がいます。安心が足りていないのかも・・・と気づきました。まずは私から、そして徐々にクラスの友達がその子にとって安心できる居場所になるように頑張っていきたいです。

『みんなのことを知っている』と誰もが思っていると思うが、実際はそうではない部分も多くある。気にしていること、知ってもらいたいこと、不安なことなど、目に見えないマイナス的なことを知り、共感するという他者理解は学級づくりの基本となるものである。

まだまだ友達の気持ちに寄り添うのが苦手な児童が多くいます。『もちあじ』のワークを通して自分と向き合い友達を知り、寄り添うことができるように思い、ぜひやってみようと思いました。『もちあじ』という表現が素敵だと思いました。

先生が人前で話すのを苦手だとおっしゃっていましたが、私もそうなのでとても励みになりました。自分と同じ不安なこと、苦手なことに対して一生懸命頑張っている姿を見ると勇気が出ますね。

最初に塩出先生がおっしゃっていた『意図を持ってしています』という言葉がとても心に残っています。最初の元気度よりも終わった時の方が、元気になっていて驚きました。私も子どもが元気になった！幸せになった！と思えるようなクラス、授業にするために頑張りたいです。

小学校班で体験した「あんしんルールをつくろう」ワークで各班から出た意見をまとめました。

豊能地区学校ルールは、㊦ 友達を大切に ㊧ 喜んでよく聞こう ㊨ のびのびと自分を出そう

☆授業見学と研究協議☆ 中学校編（附属池田中学校）

授業を見学させていただき、子ども中心の授業の大切さを改めて感じました。私は説明を短く、子どもに投げて考えさせる授業をなさいとよく言われています。子ども中心を大切に教え合いやヒントの出し方を工夫した上での授業ができるようになりたいと思いました。（国語・初任）

的確な指示や発問で生徒が素早く動く姿を見て、普段から指示の出し方に注意されていると思った。映像授業のコツを学ぶことができた。（社会・初任）

グループワークが課題だったので、班活動から個人の理解へどうつなげるかを考えることができよかったです。全員が自分の考えを説明できる状態へもっていけるように頑張ります。（数学・初任）

学校内で課題の評価方法をそろえられているのは生徒にとっても取り組みやすくなり、とても良いなと思いました。研究協議での他の先生の発言を聞いて、様々な角度での授業の見方を学ぶことができました。（数学・初任）

<p>授業を進め、聞かせるときは「待つ」の姿勢は大切だと改めて思いました。また、教材研究も大切で初任者も毎年赴任してくるので、後輩の指導や校内の数学科としての取り組みにも活かしていこうと思いました。日常の授業の様子も見学させてもらいたいと思いました。(数学・中堅)</p>
<p>ポイントをおさえた説明がわかりやすく、生徒もスムーズに話し合いを行っていました。目的の書き方から実験の予想の流れまで、様々な先生の話聞いてよかったです。(理科・初任)</p>
<p>技能を上げるために録音をして、客観的に聴いて、工夫点を自分なりに考え、周りの意見を聞く事は次の実践につながるなと思いました。これから多くの声かけ、録音、評価について改善して授業を進めたいと思います。(音楽・初任)</p>
<p>同じ教科の先生の授業を見る機会はなかなかないので、とても貴重な時間でした。(音楽・2・3年目)</p>
<p>待ち時間の過ごさせ方、別課題を用意する等時間の使い方にも配慮があり、子どもたちに必ず作業をさせられる環境づくりがとても良かったです。制作の様子を見学して、生徒がお互いの様子を見て技法等を学び合える環境になっているところに魅力を感じました。生徒の想いを作品に反映させられることの良さを感じさせたいです。(美術・初任)</p>
<p>授業を作っていく上での教材の選び方の観点や生徒の安全の確保など様々なことを学ばせていただきました。(技術・初任)</p>
<p>電子黒板を活用したり、ペアワークを取り入れたり、様々な方法で授業を進めて行くことも必要だなあと感じました。イラストや実物があればあるほど子どもたちは身近に感じ、考えることができると思いました。(家庭・初任)</p>
<p>ニュースポーツ※の授業は初めて拝見しました。ルールもわかりやすく、楽しくできそうなのでぜひ取り入れたいと思いました。1限目のオリエンテーションは体を動かす時間が多少減っても良いと思います。最初にイメージを持たせるのは大事だと思います。(保体・初任)</p>
<p>アルティメット※(ニュースポーツ)は未経験者がほとんどで、苦手意識の先入観なく取り組むことができる。4人で1つのiPadの導入に向けた設備の推進がこれからの中学校には必要。生徒主体の取り組みを充実させた体育授業になっていた。←小グループ、意見交流しやすく、ルールの理解や、共有もできる。生徒の表情に注目していましたが、真剣に動画を見て、笑顔で技能に取り組んでいて、良い授業だなと思いました。(保体・中堅)</p>
<p>男女共修の授業の難しさが分かった。これはニュースポーツだから成立するのかもしれないが、昔からの形にとらわれず男女が関わり合う中で生み出されるものもあるので、大切だと思った。研究協議を受けて、各班や先生方が深く考えて交流できたので、すぐくためになりました。研修を重ね、学び直していきたい。(保体・中堅)</p>
<p>クラスみんなが英語でコミュニケーションをとることができるように、毎回目標をしっかり持って授業をしていこうと思います。ユニバーサルデザインも意識していきたいと思います。(英語・初任)</p>
<p>All Englishでの授業がやはりこれからの時代の流れで必要になってくるのが少し不安になりました。クラスルーム Englishのみでなく、文法説明においてもALTと協力しつつ行っていけたらと感じました。今回の授業では「めあて」「ふりかえり」において提示はされていませんでしたが、自分は意識して行っていこうと思います。(英語・初任)</p>

※ ニュースポーツ 軽スポーツ、やわらかいスポーツ、体育が苦手な人でも積極的に学べる。

※ アルティメット フライングディスクを使った7人制のチームスポーツ。身体接触が禁止されている。

目の前の子どもたちの実態と課題、学習指導要領との関連や教材の系統性、具体的な指導方法、単元を通しての目標や評価規準等、子ども主体の授業をつくるために考えるべき項目は多岐にわたります。学びは、インプットとアウトプットの繰り返しによって深化します。まずは今回の学びを2学期の授業でアウトプットしてみてください。たくさんのインプットとアウトプットを経験することが教師にも子どもにも重要であり、また長期記憶へつなげる方法の一つと考えられています。